

【基本方針】

呉市立美術館は、優れた美術品の永続的な収集を図るとともに、魅力ある各種展覧会の開催や、市民参加の各種事業を積極的に展開することにより、地域文化を創造するための拠点施設として市民が誇れる美術館の実現を目指す。

【施策の展開】

1 美術品の収集

美術品の収集を美術館運営の最重点事項と位置付け、「呉市立美術館美術品収集基本方針」に基づき、芸術性が高く制作意図の明確な作品や呉市ゆかりの作品を中心に、計画的、効率的な収集を図る。そのため、呉市美術品取得基金の充実を図り、美術品に関する情報の収集に努める。

2 美術品の保存管理と公開展示

美術品は、良好な環境のもとで厳正に保存管理する。

美術館が収集した美術品を広く市民に公開するため、テーマを設け所蔵品展を開催する。また、国内外の優れた美術品を紹介するため、幅広い分野・時代の特別展を開催する。

3 美術館活動推進のための基盤整備と人材育成

「すべての美術館活動は、不断の情報収集と調査研究に基づく」との基本姿勢に立ち、美術品収集、特別展開催、生涯学習支援など、美術館活動を推進していくための基盤整備に努める。

また、職員の資質向上を図るため、各種研修会に積極的に参加するなど、人材の育成に努める。

4 広報活動

市立美術館の特徴を生かし、地域に密着した広報活動を行うとともに、アンケート調査などにより利用者のニーズを的確に把握し、新たな広報先や広報手段の開拓に努め、効果的、効率的な広報活動を展開する。

また、近隣市町や全国の美術館に対しても呉市立美術館の存在を積極的にアピールしていく。

5 生涯学習の支援事業

美術館を生涯学習のための文化施設として位置付ける。

貸し館事業を通じた創作活動発表の場の提供や講座の開催など、各種の学習支援事業を実施する。

また、学校との連携を深めながら児童生徒を対象とした美術鑑賞教育を積極的に推進するとともに、公民館など他の生涯学習施設とも連携強化を図る。

6 ボランティア活動の育成と支援

市のボランティア組織との整合性を保ちながら、美術館活動に関するボランティア活動を育成・支援する。

7 安全性の確保と快適環境の維持・整備

集客施設、美術品保存施設としての安全性・快適性を重要な課題とし、施設・設備の点検・維持に努める。また、施設・設備の短期的補修計画に併せ、長期展望に立ったリニューアル計画を作成し適切な管理に努める。

また、美術館へのアプローチなど、周辺環境の維持と整備に努める。